

「長崎を最後の被爆地に」



会議では科学者と被爆者との意見交換などの場面も

被爆者が減っていく中、世界恒久平和に向けたさまざまな取り組みが行われた被爆70年。国内外から科学者などが集まり核兵器廃絶を議論する「パグウォッシュ会議世界大会」が11月1日～5日、長崎で初開催。

会議では、核兵器廃絶への道筋や原子力の平和利用のリスクなどを議論し、既存の国際機関の限界や核抑止力に依存しない安全保障政策などを指摘。核兵器保有国の廃絶の確約や、核兵器の法的禁止を呼びかける「長崎宣言」を発表して閉幕しました。

■問い合わせ 平和推進課(☎844-9923)

「ながさき歴史の学校」開校



各コースとも定員を大きく超える応募がありました

長崎の歴史について、いろいろな人と交流しながら、誰もが気軽に学ぶことができる初心者向け講座「ながさき歴史の学校」。10月29日、「開校式」(開講式)を行い、受講生・講師が一堂に会しました。

受講生の皆さんは、緊張の中にも、新たな講座を楽しむにしている様子。今後、「長崎学入門」「世界遺産学習」「文化財はじめの一步」の各コースに分かれて、それぞれ、長崎の歴史をひもときます。

■問い合わせ 文化財課(☎829-1193)

歴史をかみしめ 新しい歩みを!



「母校の歴史に新たな風を」と決意を述べる生徒代表

公立の商業高校として九州で最も古い歴史を持つ市立長崎商業高校。11月7日、創立130周年記念式典が開催され、在校生や同窓生など約1,800人が節目の年を祝いました。式典では、同校の歴史を振り返りながら全員で校歌を斉唱。参列者は、先人たちが築いた伝統に恥じない新たな活躍を誓い合いました。

■問い合わせ 市立長崎商業高校(☎887-1511)

いつまでも 平和が映れ 子の瞳



平和への願いを書いた風船を空に放つ「バルーンリリース」も行いました

10月24日、原爆犠牲者を追悼し平和を訴える「市民大行進」を開催し、約3,000人が平和公園から爆心地公園まで行進。11時2分には全員で黙とうし、深堀中学校3年の徳永悠太さんが「被爆者の思いを忘れず、尊重し合うことを大切にします」と宣言しました。

原爆資料館では、「世界平和祈念ポスター・標語展」入賞者への表彰と作品展示が行われたほか、戦時食体験などができる「市民のつどい」も開かれました。

■問い合わせ 被爆継承課(☎844-3913)